

令和6年 安全運転教育年間計画

誠観光株式会社

実施月	内 容	ね ら い
1月	異常気象時における対処方法	悪路走行(雪道)を想定し、車両の特性や危険ポイント等を習得させる。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性の向上を図るための装置を備えた貸切バスの適切な運転方法 ・緊急時避難訓練 ・非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性向上のための装置の操作・運転方法・注意点を理解させる。 ・緊急時に速やかに器具を使用し、旅客の安全を図る。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用自動車の構造上の特性 ・ヒューマンエラーによる事故防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの重量、車高、車長、車幅などの特徴から、死角やスピードに影響があることを確認させ、特性に合わせた運転をすることが必要であることを認識させる。
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用自動車を運転する場合の心構え ・春の全国交通安全運動について ・ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行の安全及び旅客の安全の確保とともにほかの運転者の模範となるように努める。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項 ・救急救命講習 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送法及び交通ルール等を理解させる。 ・救命措置について学ぶ。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス運行では、乗客の状況に応じ、安全を確保する運転をすることが必要であり、「急」の付く運転はしない、高速道路での速度注意など、乗客の安全確保のために留意すべき事項を認識させる。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理の重要性 ・ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転 	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病が交通事故の要因となるおそれがあることを理解させ、疾病が及ぼす影響、健康診断受診の重要性を認識させ、疾病等を必ず申告させる。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・運送業法に関する労務法令の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送法及び安全規則、自動車運転者の労働時間の改善に関する基準に関する労働時間を理解させる。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・危険の予測及び回避 ・ヒヤリ・ハットによる危険予測 ・秋の全国交通安全運動について 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス運行の交通場面では、どのような危険があるか、乗客の安全をどのように確保すればよいのか、どのような運転をすればよいのかを考える。
10月	交通事故に関わる運転者の生理的および心理的要因およびこれらへの対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間連続運転、過労、飲酒等生理的要因並びに慣れ、過信運転の防止について。
11月	旅客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・バス運行の交通場面では、どのような危険があるか、乗客の安全をどのように確保すればよいのか、どのような運転をすればよいのかを考える。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・運転者の運転適性に応じた安全運転 ・主として運行する路線もしくは経路または営業区域における道路および交通の状況 ・ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転 	<ul style="list-style-type: none"> ・適性診断等による運転者の適性運転行動の改善を図る。 ・営業区域における道路交通状況を把握し、安全で効率的な運行を図る。 ・ドラレコの画像から危険予知トレーニングを行う。